

報道関係者各位

2026年6月4日
株式会社東陽テクニカ

「Interop Tokyo 2026」に出展
ネットワークの可視化・計測・検証・セキュリティまで、
AI時代の通信インフラを支える最新計測ソリューションを3つのブースで展開

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野 俊也^{こうの としや}、以下東陽テクニカ)は、6月10日(水)からの3日間、幕張メッセで開催される国内最大級のインターネットテクノロジーイベント「Interop Tokyo 2026」に出展いたします。

本展は、「Interoperability(相互接続性)」をテーマに、最先端の情報通信関連の機器、技術、サービスが一堂に会し、それらを実稼動させることで、実際の利用環境における連携のあり方を体感できるインターネットテクノロジーイベントとして、1994年から開催されています。

東陽テクニカは、AI やクラウドの普及により高度化・複雑化する通信環境に対応する最新計測ソリューションを3つの展示ブースでご紹介いたします。ネットワークの可視化・解析、通信品質の計測・検証、サイバーセキュリティ対策など幅広くご提案いたします。

また、「ShowNet」^{※1}では、実ネットワーク内で稼働する東陽テクニカの製品・ソリューションをご覧いただけます。

なお、Best of Show Award ファイナリストとして、東陽テクニカの5つの製品、ソリューションが選ばれました。受賞については6月10日(水)に発表される予定です。

※1 Interop Tokyo 会場内のネットワークを、出展社から提供された製品・サービスを用いて実際に構築する実証プロジェクト

<参考>

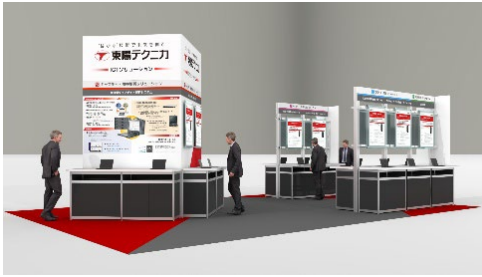
Best of Show Award ファイナリスト一覧：<https://f2ff.jp/2026/interop/award/finalist/>

- ・東陽テクニカ製「SYNESIS」/デジタルメディア部門
- ・Meritech Software 社製「Sigma-NEO」/モバイルコンピューティング(5G/6G)部門
- ・Aukua Systems 社製「MGA8410」/テスト部門
- ・VIAVI Solutions 社製「TestCenter D2 1.6T アプライアンス」/テスト部門
- ・VIAVI Solutions 社製「VIAVI Testing Productivity with AI」/テスト部門

【イベント概要】

- ◆開催展名：Interop Tokyo 2026
- ◆会期：2026年6月10日(水)～12日(金) 10:00～18:00
※最終日のみ 17:00 終了
- ◆会場：幕張メッセ
- ◆ブース番号：①4H10②4T20③5P01
- ◆イベント公式サイト：<https://www.interop.jp/>

ブース① (ブース番号 : 4H10)



ネットワークの“見える化”を軸に、安心・安全な通信環境を実現する可視化・解析・監視・時刻同期・音声評価など、運用現場を支援する多彩な ICT/IT ソリューションをご紹介します。実機展示やデモンストレーションを通じて、日々のネットワーク運用における課題解決のヒントをご提案します。

(担当部門 : ICT ソリューション部)

【主な出展製品・ソリューション】

● **大容量パケットキャプチャ／解析システム「SYNESIS」 (東陽テクニカ製)**

※ **Best of Show Award** ファイナリスト製品

100Mbps から 100Gbps までの幅広い回線速度に対応し、独自の並列処理技術により高速かつ大容量のトラフィックを取りこぼしなくキャプチャできる装置です。IP 化映像・音声伝送の解析機能を新たに実装しています。業界標準 SMPTE 規格に対応し、IP パケットベースのトラブルシュートを可能にします。



● **次世代イーサネット&IP テストプラットフォーム「MGA8410」 (Aukua Systems 社製)**

※ **Best of Show Award** ファイナリスト製品

パケット送出、障害エミュレーション、パケットキャプチャ／解析の 3 機能を 1 つの筐体に統合し、かつ同時に 2 つの機能を使用することが可能な次世代プラットフォームです。試験にかかる工数・時間を削減し、通信技術の研究・開発現場における高効率な検証を支援します。



● **LTE/5G/ローカル 5G モバイルネットワークモニタ「Sigma-NEO」 (Meritech Software 社製)**

※ **Best of Show Award** ファイナリスト製品

AI による自動測定制御と高度なデータ解析により、無線品質改善業務を効率化するクラウドアプリケーションです。同社のモバイルネットワーク品質監視システム「Centra-SD」と連携し、測定の自動実行から問題箇所の抽出、原因解析、改善提案までを一気通貫で支援します。



● **仮想基盤・VDI の管理/監視/ボトルネック可視化ツール「uObserve」 (Uila 社製)**

仮想基盤/VDI の可視化、分析、最適化に特化した解析ソフトウェアです。オンプレミス仮想化環境から主要パブリッククラウド環境まで対応し、VM(仮想マシン)の構成や相互の通信連携、システム上のボトルネックを一元的に可視化・分析できます。



詳細ページ : https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/interop_tokyo2026.html

ブース② (ブース番号 : 4T20)



AI時代の大容量通信やクラウド利用拡大により、ネットワークにはこれまで以上に高い性能・安定性・セキュリティが求められています。本ブースでは、「ネットワークパフォーマンステスター」「セキュリティ&リアルアプリケーションテスター」「ネットワークエミュレータ」を中心に、通信品質の可視化から負荷試験、障害再現、セキュリティ検証まで、実運用を見据えた評価・検証ソリューションをご紹介します。

(担当部門：次世代通信計測部)

【主な出展製品・ソリューション】

● **ネットワークパフォーマンステスター「TestCenter D2 1.6T アプライアンス」 (VIAVI Solutions 社製)**

※ **Best of Show Award** ファイナリスト製品

AIワークロードを実行する1.6T(テラ)クラスの次世代イーサネットネットワーク向けに特化して設計された、先進的なテストプラットフォームです。高速化が進むデータセンター、AIインフラ、クラウド環境の構築において、ネットワークの性能、信頼性、相互運用性の包括的な検証を可能にします。



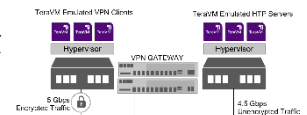
● **ポータブル型ネットワークテスター「OneAdvisor 800」 (VIAVI Solutions 社製)**

最大800Gの帯域幅と1~800Gの幅広いイーサネットレート試験に対応する業界で最も拡張性の高いポータブル型のネットワークテスターです。装置ベンダーや研究開発部門でのハードウェア評価はもちろん、実運用環境における開通試験、障害解析、保守・メンテナンスまで、ライフサイクル全体をカバーします。



● **モバイルコアノードパフォーマンステスター/エミュレータ「TeraVM」 (VIAVI Solutions 社製)**

仮想化・クラウド環境におけるNGFW、VPN Gateway、ルーター、NAT、ロードバランサ、SASE/ZTNA、セキュアゲートウェイなどのネットワークセキュリティ機器・サービスを検証するための、IPベースの統合テスト/測定ツールです。PQC(耐量子暗号)にも対応し、実トラフィックを用いた性能・挙動・耐性評価を包括的に実施できます。主要な仮想セキュリティ基盤の事前検証や品質評価に活用されています。



● **マルチポート&フルワイヤレート対応ネットワークエミュレータ「Calnex SNE Ignite」 (Calnex Solutions 社製)**

実際のネットワークにおいて起こり得る遅延やパケットロス発生などの障害を、お客様のラボ内で高精度に再現できるハードウェアベースの多ポート&フルワイヤレート対応ネットワークエミュレータです。テスト機器分野において高い専門性を持つCalnex社が開発した高精度なネットワークエミュレーションプラットフォームで、5G O-RAN、eCPRI、RoE、3GPPテストに最適です。



詳細ページ：https://www.toyo.co.jp/act/seminar/detail/interop_tokyo2026.html

ブース③ (ブース番号 : 5P01)



ネットワークや情報資産の安全性と安定運用を実現する、情報セキュリティ先進国のセキュリティソリューションをご紹介します。DDoS 攻撃対策、能動的サイバー防御、継続的脅威エクスポージャー管理、通信制御と可視化など、複雑化するネットワーク環境や高度化するセキュリティ脅威に対応するための最適なアプローチをご提案します。
(担当部門 : セキュリティ&ラボカンパニー)

【主な出展製品・ソリューション】

● DDoS 攻撃対策ソリューション (NetScout Systems 社製)

世界中のインターネットサービスプロバイダやネットワークオペレータで高い導入率を誇る DDoS 対策ソリューションです。大量の不正通信を送り通信回線を飽和させるボリウム型攻撃はもちろん、ステルス性が高く見逃しやすいアプリケーションレイヤ型攻撃ももれなく検知し、回線の安定運用を実現します。

● アクティブサイバーディフェンスソリューション「ULTRA RED」 (ULTRA RED 社製)

サイバー攻撃者の実手法を使って組織のネットワークへの侵入シミュレーションを行い、攻撃される可能性の高い脆弱な箇所を正確に特定し、攻撃を受ける前に対策を講じるためのサービスです。CTEM(継続的な脅威エクスポージャー管理)プログラム導入をオール・イン・ワンで支援し、能動的サイバー防御を実現します。

● ネットワーク&アプリケーションの通信制御と最適化・DPI ソリューション「Allot」 (Allot 社)

ネットワークをリアルタイムで監視しながら、利用実態に応じてアプリケーション別に最適に帯域制御ができるソリューションです。オンプレミスおよびクラウド環境の双方に対応し、世界基準のネットワーク可視化×帯域制御で通信の安定・高速化を実現します。

詳細ページ : <https://www.toyo.co.jp/slc/event/detail/20260610/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンス、量子ソリューションなど多岐にわたり、クリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資や M&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 広報・マーケティンググループ

TEL : 03-3279-0771(代表)

E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

出展情報ページ :

https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/interop_tokyo2026.html

https://www.toyo.co.jp/act/seminar/detail/interop_tokyo2026.html

<https://www.toyo.co.jp/slc/event/detail/20260610/>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。